

令和5年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

ふ り が な	かせんげきじんさいがいたいさくとくべつきんきゅうじぎょう(まびきんきゅうちすいたいさくぷろじえくと)
1. 事業(施策)の名称	河川激甚災害対策特別緊急事業(真備緊急治水対策プロジェクト)
2. 事業(施策)実施期間	平成30年 9月 7日 ~ 令和 6年 3月31日
3. 事業費(工事費)	11,000百万円
4. キーワード	関係機関等と連携した事業、地域の活性化
5. 事業概要	
<p>平成30年7月豪雨では、倉敷市真備町において、高梁川水系小田川支川の県管理河川3河川(末政川、高馬川、真谷川)では、小田川からの背水(バックウォーター)の影響で水位が上昇し、堤防の決壊や越水等が発生したことにより広い範囲で浸水被害が発生した。</p> <p>県では再度災害防止を図るため、河川激甚災害対策特別緊急事業により、県管理河川の3河川で重点的な堤防整備(堤防嵩上げ、堤防強化等)を実施し、令和5年度に完成した。</p>	

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(b)堤防の機能強化 () () ()	(c)情報発信 (d)イベントの開催 (i)関係機関等との調整・協力 ()
アピールする 2)「秀でた成果」	(b)コストの縮減 (d)施工の合理化・効率化 (f)地域の活性化(復旧復興) ()	(f)地域の活性化(復旧復興) () () ()

7. 特にアピールしたい点
<p>事業実施に当たっては、県だけではなく国が進めている小田川合流点の付け替え事業や小田川の堤防強化事業、また、市において市管理河川である大武谷川、背谷川、内山谷川の堤防嵩上げも併せて実施することから、国・県・市が連携・協力して真備地区の早期復興に努めてきたところである。</p>

8. 事業を代表する写真及びキャプション



(一)末政川



(一)高馬川



(一)真谷川

9. 事業内容・添付資料

堤防の機能強化 ①-1) -b

○堤脚保護（ドレーン）工の設置について

この度の主な被災原因として、長時間にわたる降雨の継続や、高い外水位、さらに内水による浸水により堤体内に多くの水が浸透したと推測され、このことで堤防が弱体化し、堤防決壊を助長した可能性があることから、すべり破壊が安全率を満足できない範囲については、浸透対策としてドレーン工を設置し、堤防の機能強化を図った。

施工の合理化・効率化 ①-2) -f

○河川横断構造物の統廃合について

末政川においては、河川横断構造物として伏せ越し構造（河川の河底を通過させる工作物）の用水路が3箇所あり、このうち2箇所は真備地域の田を潤すために高梁川から引かれている県内でも有数の「上原井領用水」のため、必ず機能回復する必要があったが、関係者のご理解とご協力により1箇所に統合することができた。残る1箇所も利用頻度を考慮し、いったん河川へ落とし、再取得することで伏せ越し構造を回避する計画とした。

また、河積の拡大や堤防嵩上げにより、架け替えが必要な橋梁が、大小合わせて9橋あったが、市道橋の統合や廃止により、架け替えを5橋とし、これらにより施工の合理化や効率化を図ることができ、大幅な工期短縮が可能となった。

コストの縮減 ②-2) -b

○築堤材の工事間流用について

多大な築堤盛土材が必要となることから、施工箇所付近にストックヤードを確保し、他工事から発生する土砂を流用することでコスト縮減を図った。

情報発信 ②-1) -C

○災害復旧状況の情報発信について

真備地区は甚大な被害を受けたことから、一日も早い復旧に向け事業進捗状況に関する情報発信も重要な取り組みの一つと考え、県では県ホームページやインスタグラム、LINEなどの多様なSNSを活用し、広く地域住民に工事状況を伝え「事業の見える化」を図った。

また、国・県・市が連携して当事業のハード対策やソフト対策の進捗状況等に関する説明会を毎年開催しコロナ禍以降は地元ケーブルテレビやYouTubeを活用して、地域の皆様に幅広く工事の進捗状況等の周知に努めた。

○全面通行止めに関する周知・広報

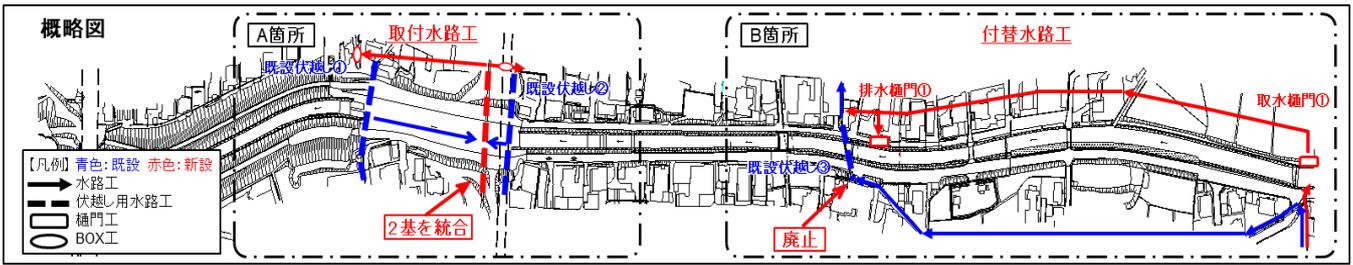
有井橋やごぜ橋の架け替え工事は、既設道路を長期にわたり全面通行止めする必要があったが、地域住民への影響を最小限に抑えるため、事前に交通量調査等の状況調査を行ったうえで迂回路等を設定し、これらのことについて多様な方法で周知広報を図ったことが功を奏し、大きな混乱なく全面通行止めが実施できた。

(周知広報方法)

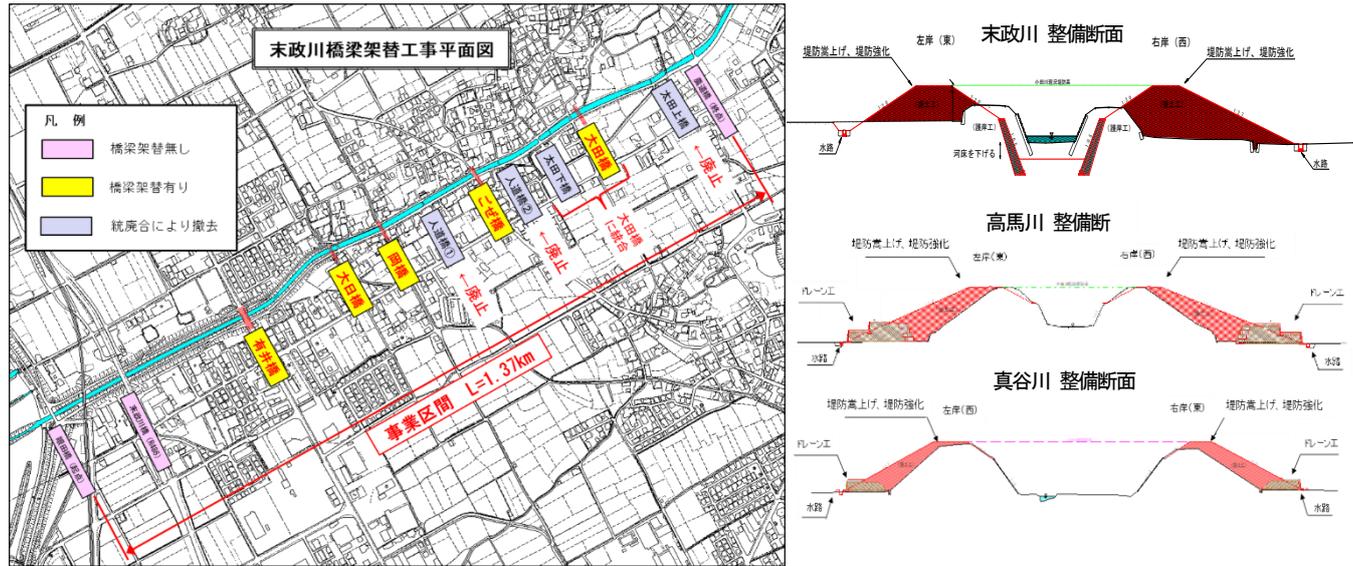
- ・ 広報誌やラジオ、SNS等による情報発信、真備地域全域へのチラシ郵送
- ・ 工事開始前の予告看板や工事期間中の誘導看板を設置

9. 事業内容・添付資料

【伏せ越し水路の統廃合について】



【橋梁の統廃合について】



【状況写真】



ドレーン工の設置



PR 看板の設置



地元小学生との交流(防災学習)



橋梁供用開始状況



水害伝承の展示会



有井橋開通前イベント